

自衛消防隊訓練をやるう モデルシナリオ



リスクマネジメント研究部会 部会長：上倉秀之



はじめに

猛威を振るった新型コロナウイルスも5類となり、病気としてはまだ残っているもののオフィスには人が戻ってきています。

一方この数年間、自衛消防隊の訓練が不十分なまま人事異動などで経験者が少なくなった事業所も多いようです。

本セミナーでは各企業単位で実施できる自衛消防隊地区隊の訓練について、地震発生時を想定した訓練シナリオや実施上の留意点を解説します。

是非、各事業所で自衛消防隊の訓練を行ってください。



©KAMIKURA

自衛消防隊について

- ◆ 自衛消防隊は事業所で働く人で編成され、防火の活動や初動対応を行います。

✓ 何事も無くても



避難経路の
安全確認

✓ 火災が発生したら



通報連絡
応急救護

初期消火
避難誘導



✓ 地震が発生したら



安全確認
応急救護

帰宅困難
者対応



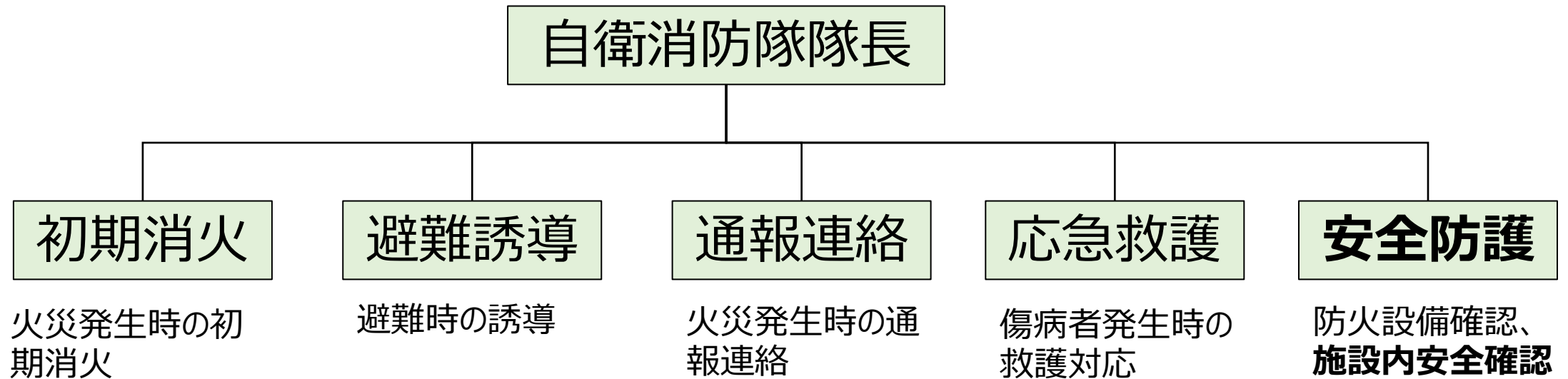
活動の流れ

- ◆ 地震発生により自衛消防隊を編成。可燃性液体の瓶が落下し発火と想定し、初期消火・避難誘導・通報連絡を実施。続いてフロア内安全確認・被害確認・応急救護を行い、状況報告します。
- ◆ 最初是一个一つずつ区切って、参加者が役割を理解できるようにゆっくりやりましょう。
- ◆ 慣れてきたら一連の活動を同時並行的に対応するようにレベルアップしましょう。



自衛消防隊の構成・役割

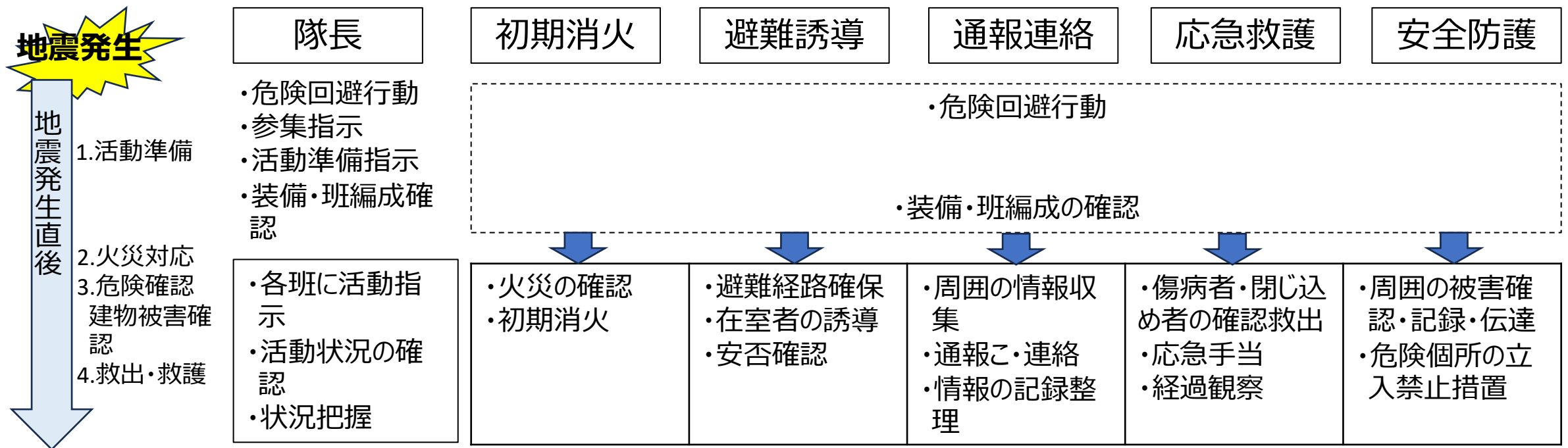
災害時には「初期消火・避難誘導・通報連絡・応急救護」に加え、施設内の被害確認・安全確認を行う「安全防護班」の設置を推奨します。



※各班の編成は2名以上が望ましいのですが、訓練では1名で行います。

訓練での自衛消防隊活動の任務イメージ

訓練では地震発生直後の対応について体験するようにします。



◆自衛消防隊活動フローチャート（地区隊）

新宿駅周辺防災対策協議会 総会・セミナー・講習会

2019年10月2日 自衛消防組織の震災対応活動講習会 自衛消防隊の構成と活動内容・自衛消防隊活動フローチャート（地区隊）

http://kouzou.cc.kogakuin.ac.jp/ssa_bousai/pdf/R1/10/r1_1002_lecture1_2.pdf より抜粋・一部修正

事前準備

- ◆ メンバーの選定・・・自衛消防隊訓練参加者の選定
 - ・ 訓練進行役1名
 - ・ 自衛消防隊隊長1名、各班隊員5名
 - ・ 負傷者役1名
- ◆ 日時・場所の決定・・・訓練場所の確保
 - ・ 訓練全体で40-60分程度を確保。会議室等を使用し、訓練の声が執務場所に漏れないことが望ましいが、執務場所の一角でも可。
- ◆ 事前説明・・・訓練時間は限られているため、「自衛消防隊とは」などの基礎的な事は事前に予習してもらいましょう。

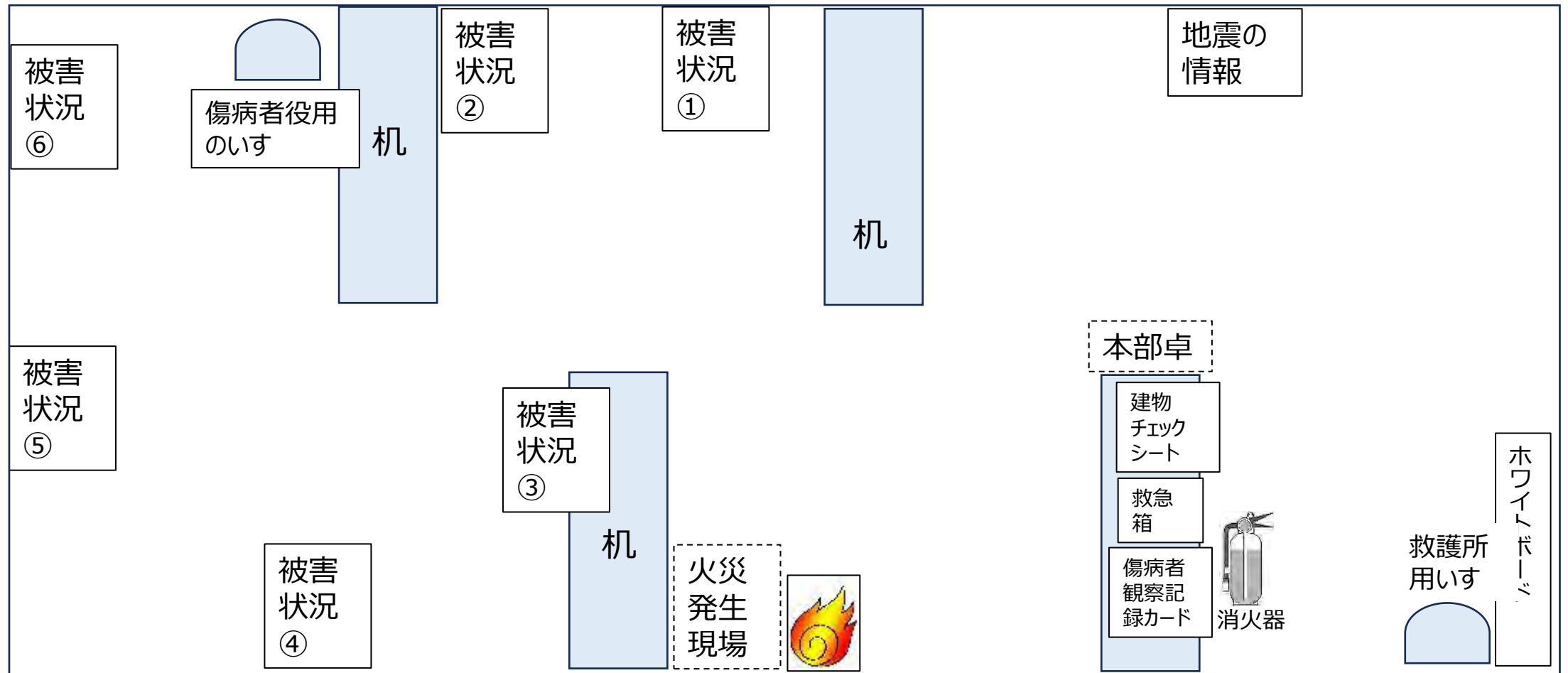
参考) 東京消防庁・自衛消防隊設置

https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/lfe/office_adv/jiei_shoubou/index.html

機材等の準備

- ◆ ホワイトボード・・・情報の記録
- ◆ ヘルメット・手袋等の個人装備
- ◆ フロア内配置図・メモ用紙・筆記用具・・・フロア内確認時のメモ記録等を行う用意
- ◆ 点呼用名簿（本訓練では実際の点呼は行いません。自衛消防隊編成時に必要な物としてご用意ください）
- ◆ 消火器・・・噴霧はさせないので訓練用でなくても良い。
- ◆ 火災発生場所・・・火災場所を示す A 4 のプリント（添付）
- ◆ 情報シート、傷病者情報シート
- ◆ 傷病者観察記録カード、建物チェックシート
- ◆ 訓練用台本

訓練会場の設え

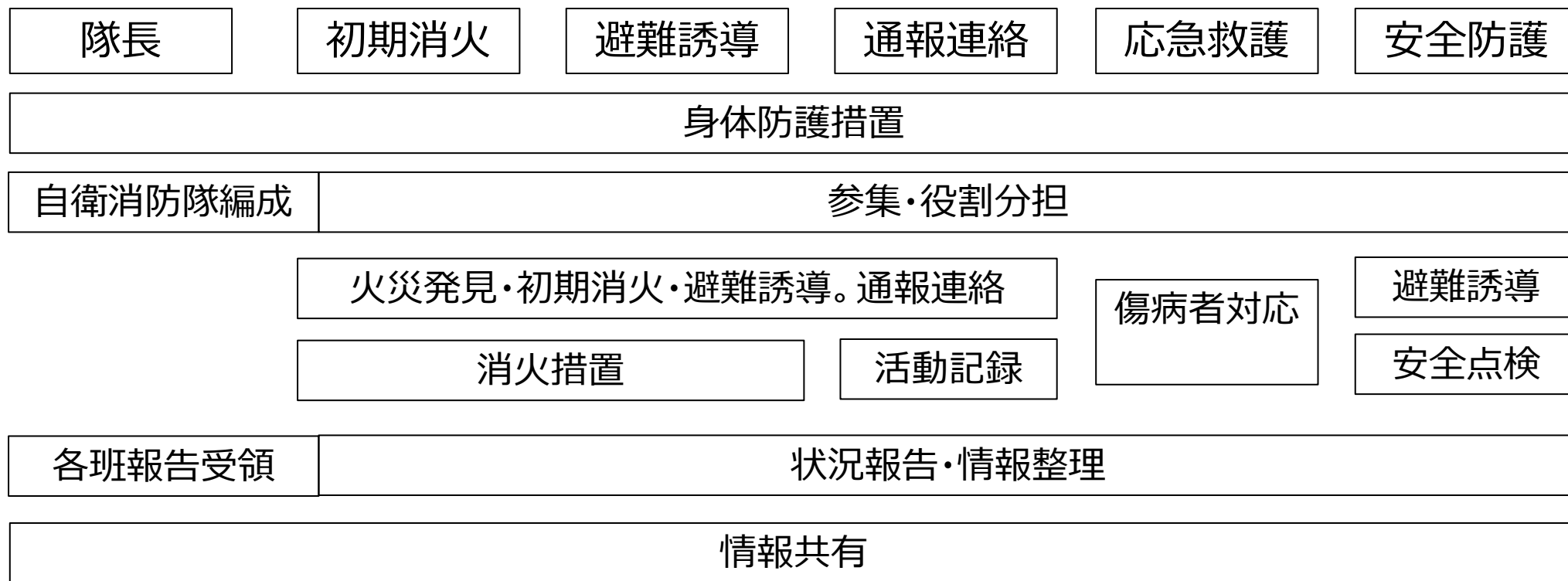


レイアウトは概ねの位置で結構です。

訓練シナリオ例

※本訓練は自衛消防隊の一連の動きを体験していただくものです。実際の活動の優先順位や対応を示すものではありません

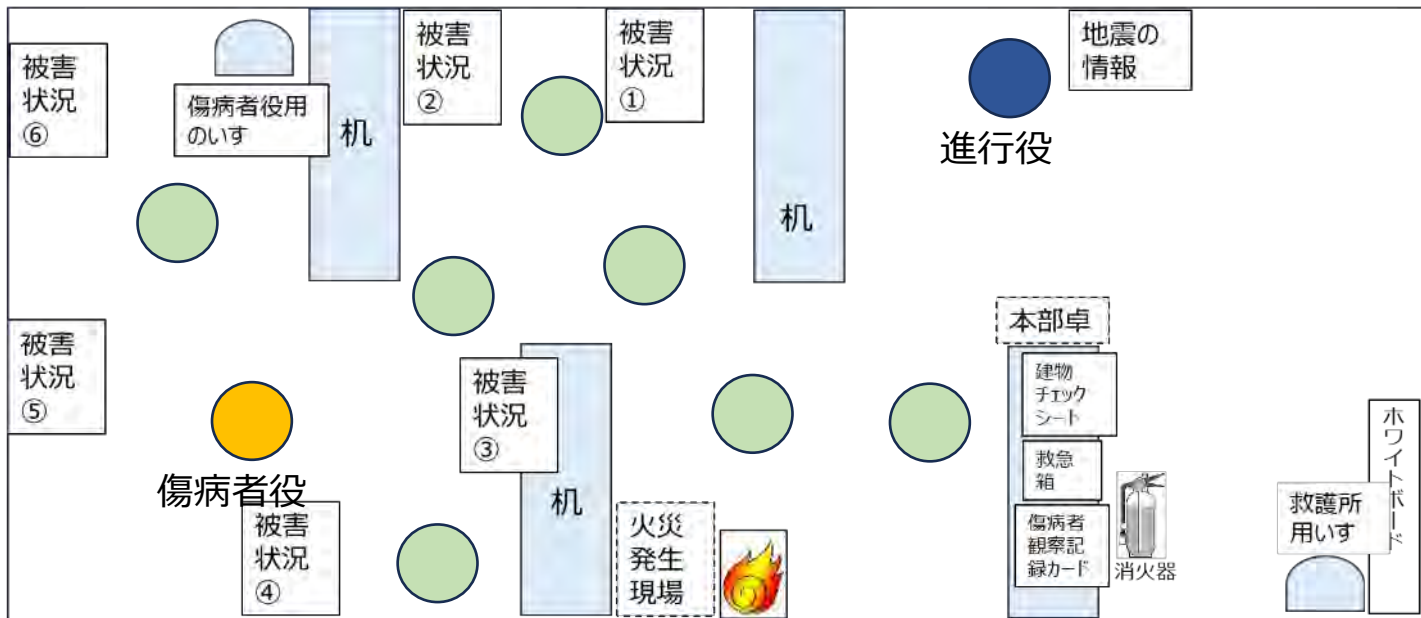
訓練の進行



ご注意) 本訓練における各班の動きは訓練用にモデル化したものです。実際の火災発生時や地震発生時の対応とは異なる場合がありますので留意してください。訓練を繰り返し、各社の実情に合わせてレベルアップしてください。

訓練時の動きのイメージ①

最初は、訓練参加者は訓練スペースの**任意の場所**にいてください。

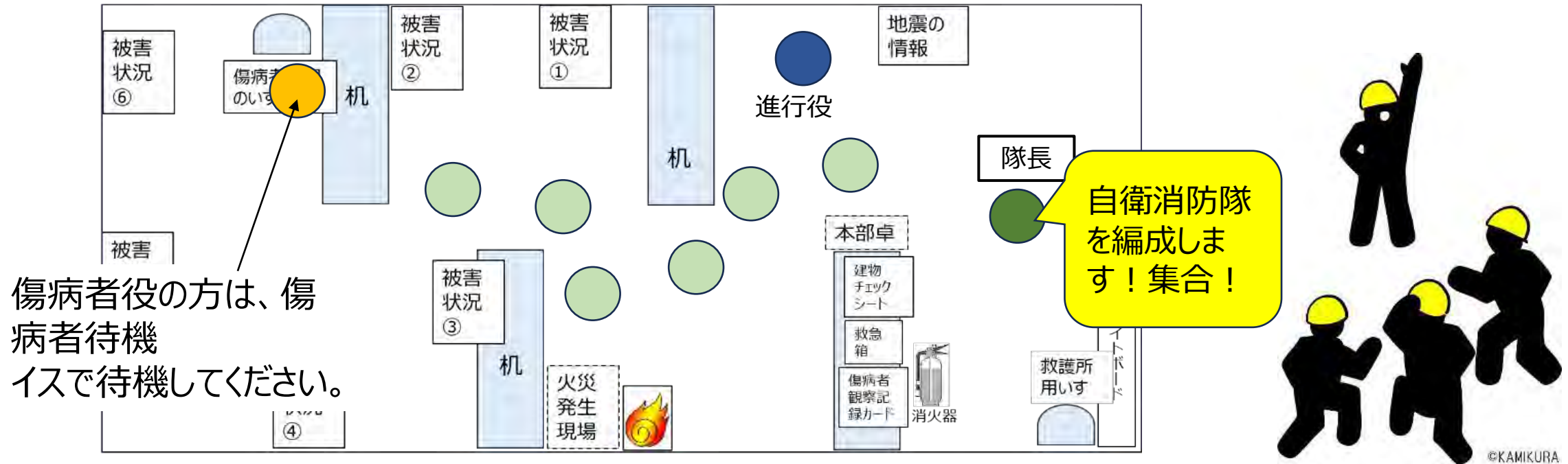


◆身体防護
身を低く・頭を守り・動かない

役割	セリフ
進行役	「訓練を開始します。地震発生、大きな揺れが来ています」
全員	身体防護！（周囲に「身体防護」を呼び掛けて、訓練参加者は身を守る行動を行ってください）

訓練時の動きのイメージ②

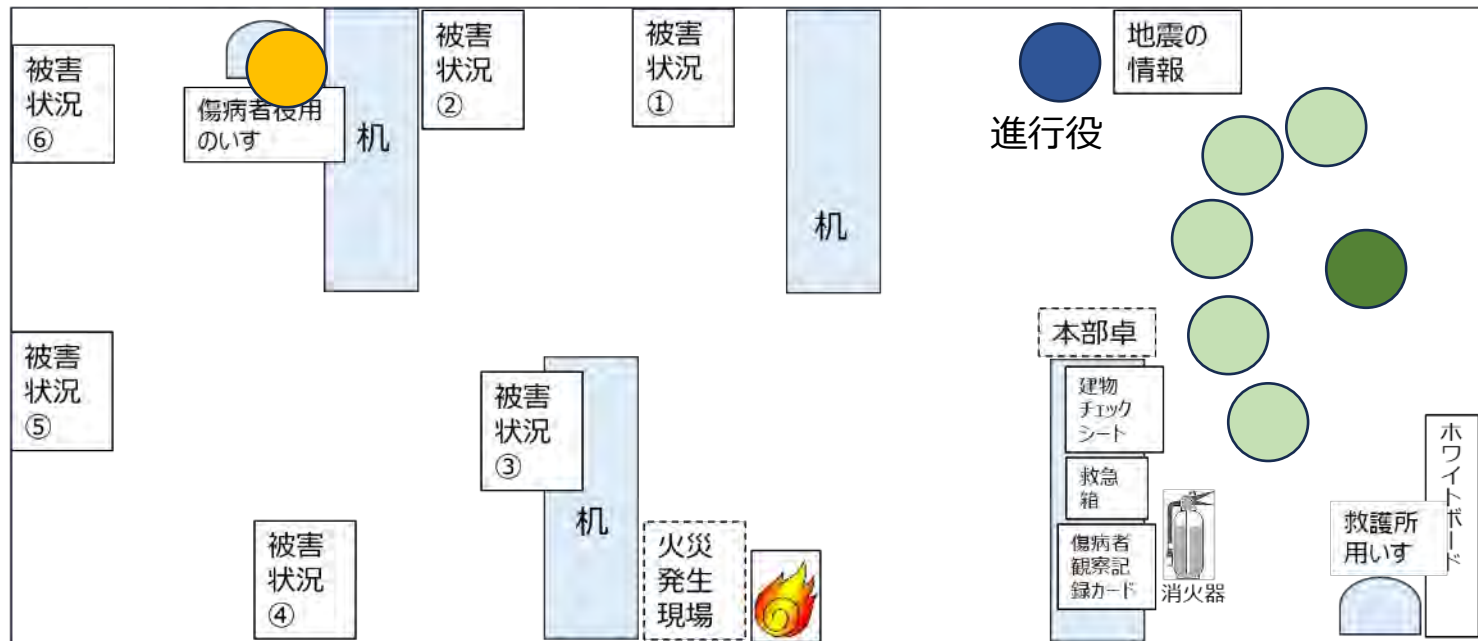
揺れが収まり次第、隊長（リーダー役）は自衛消防隊を招集します。



役割	セリフ
隊長	（隊長役は自衛消防隊待機スペースに移動し、隊員を招集します。） 「私が指揮を執ります。自衛消防隊は集合してください。」

訓練時の動きのイメージ③

集まった隊員に自衛消防隊の五つの役割分担を行います。



役割分担をします。
初期消火・Aさん
通報連絡・Bさん...

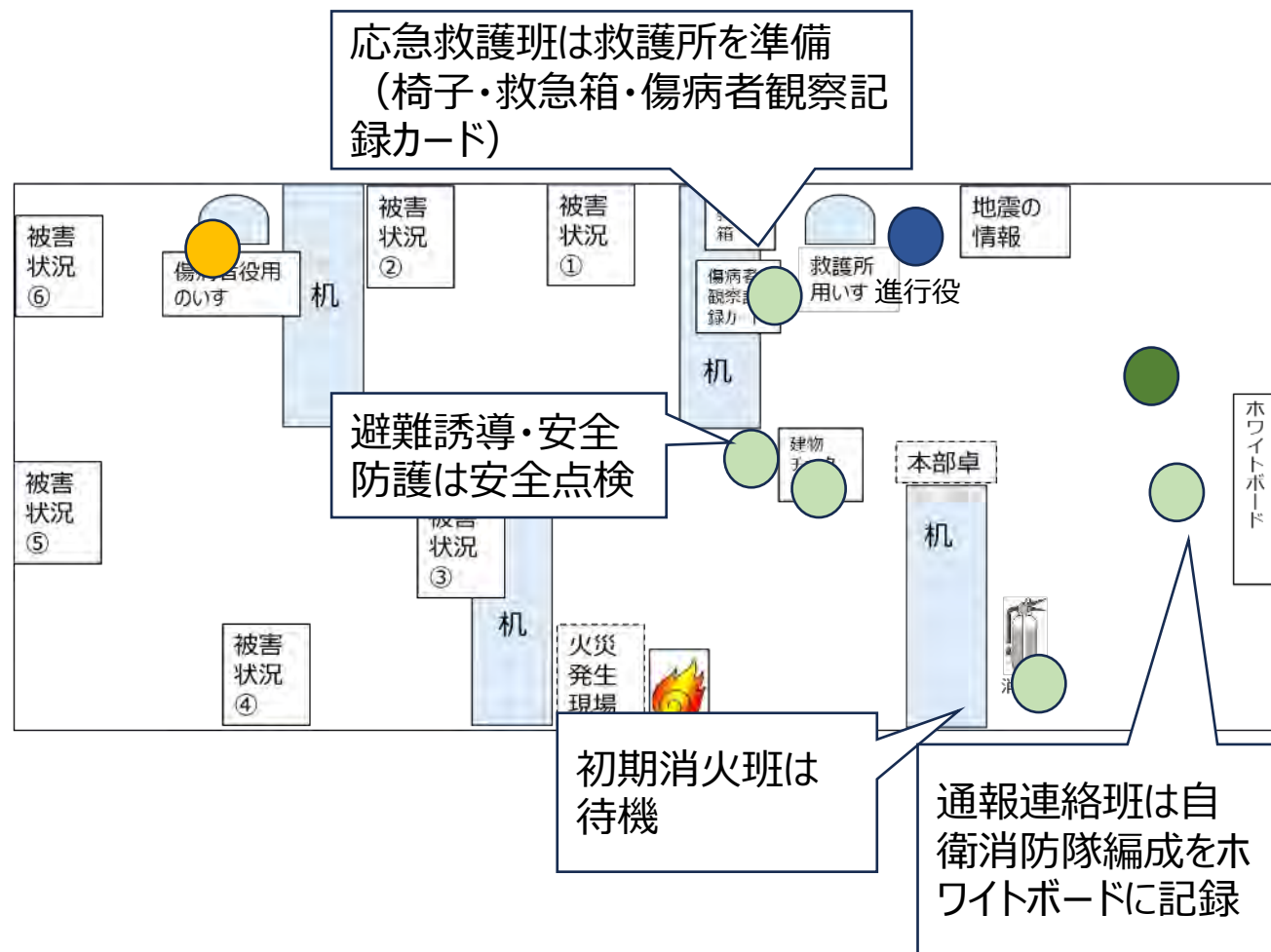


役割	セリフ
隊長	「役割分担をします。初期消火班はAさん、・・・」（5人に役割を指示します）
隊員 A	はい！（役割分担されたら返事をしてください）

※自衛消防隊は、組織として役割が事前に割り振られていますが「訓練」として役割分担を行います。

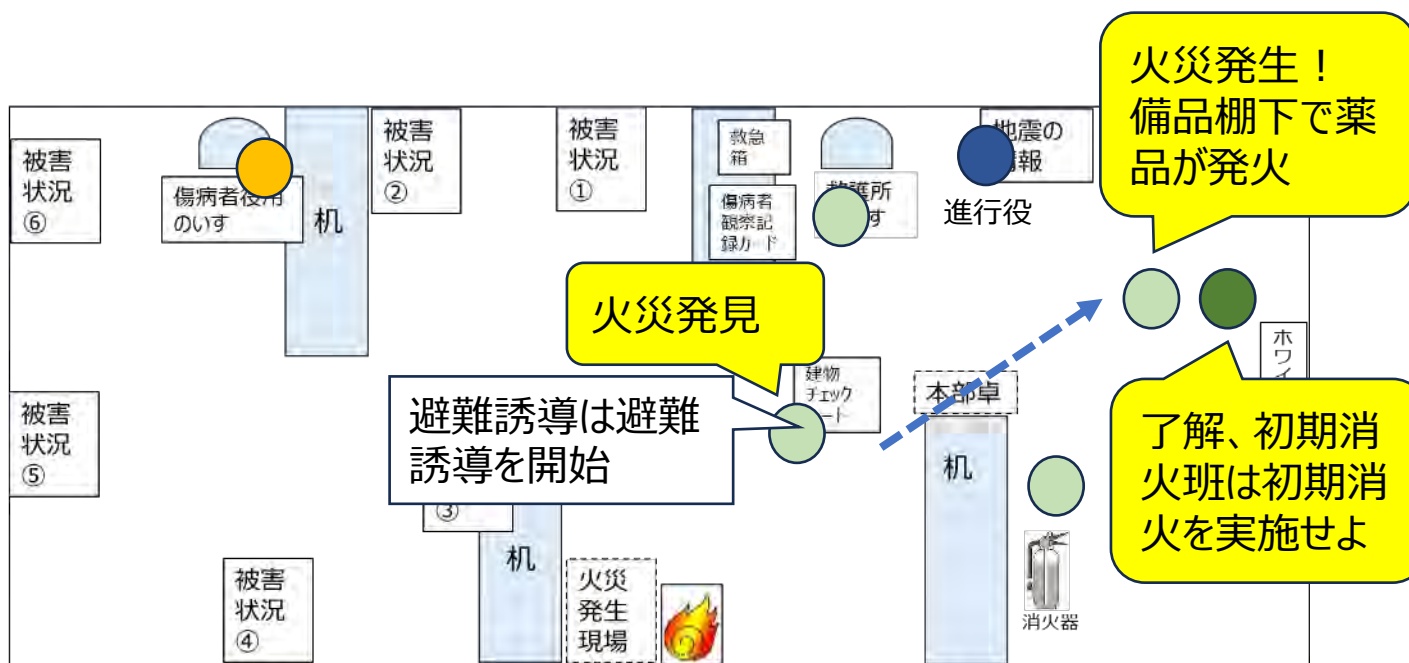
訓練時の動きのイメージ④

役割分担した隊員に対応指示を行います。



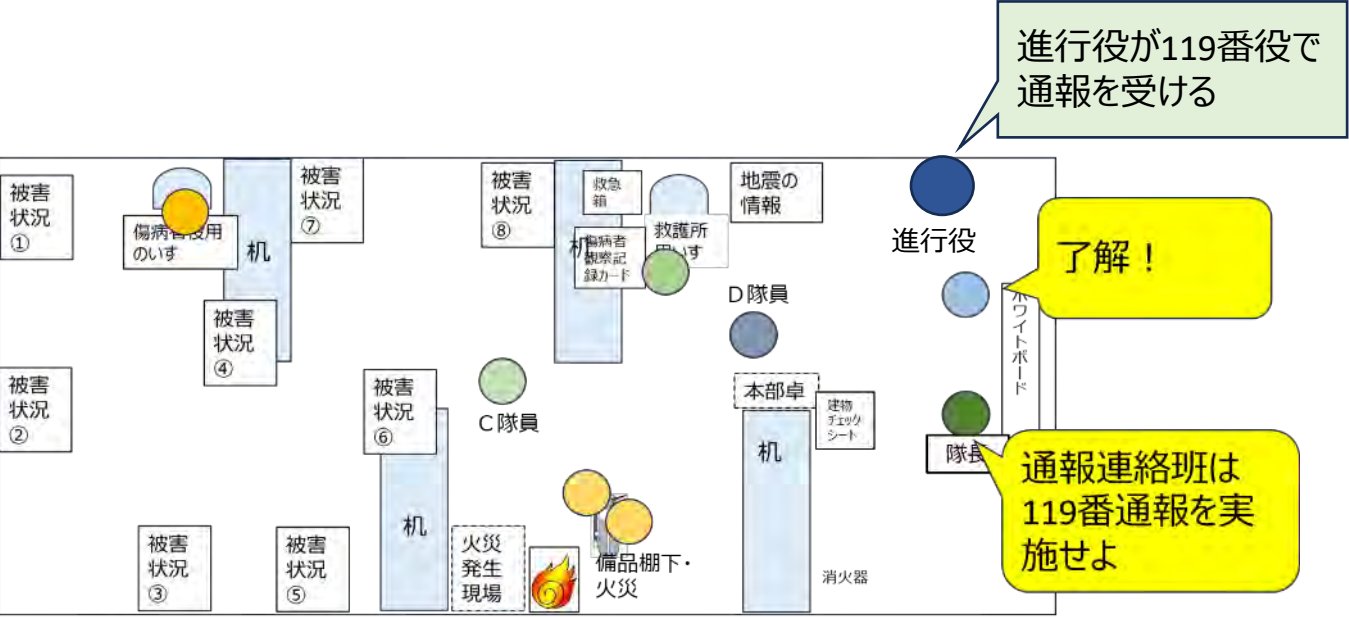
役割	セリフ
隊長	「初期消火班は待機。避難誘導班・安全防護班は被害状況を確認してください」
各班の隊員	了解！（建物チェックシートを持参）
隊長	「通報連絡班は本部の準備を行ってください」
通報連絡班	了解！（ホワイトボードの準備と自衛消防隊役割分担を記録）
隊長	「応急救護担当は救護所の準備をしてください。」
応急救護班	了解！（救急箱・傷病者観察記録シート・傷病者用いすを準備）

訓練時の動きのイメージ⑤



役割	セリフ
避難誘導班	火災発見！安全防護班は直ちに本部に報告！（避難誘導班は避難誘導を開始）
安全防護班	了解！（本部に戻り隊長に火災発生を報告）
避難誘導班	「火事です。避難してください。避難口はこちらです」（避難誘導を実施）
安全防護班	（隊長に報告） 火災発生！ 備品棚下で薬品が発火
隊長	了解、初期消火班は初期消火を実施せよ
初期消火班	了解、初期消火を実施します。

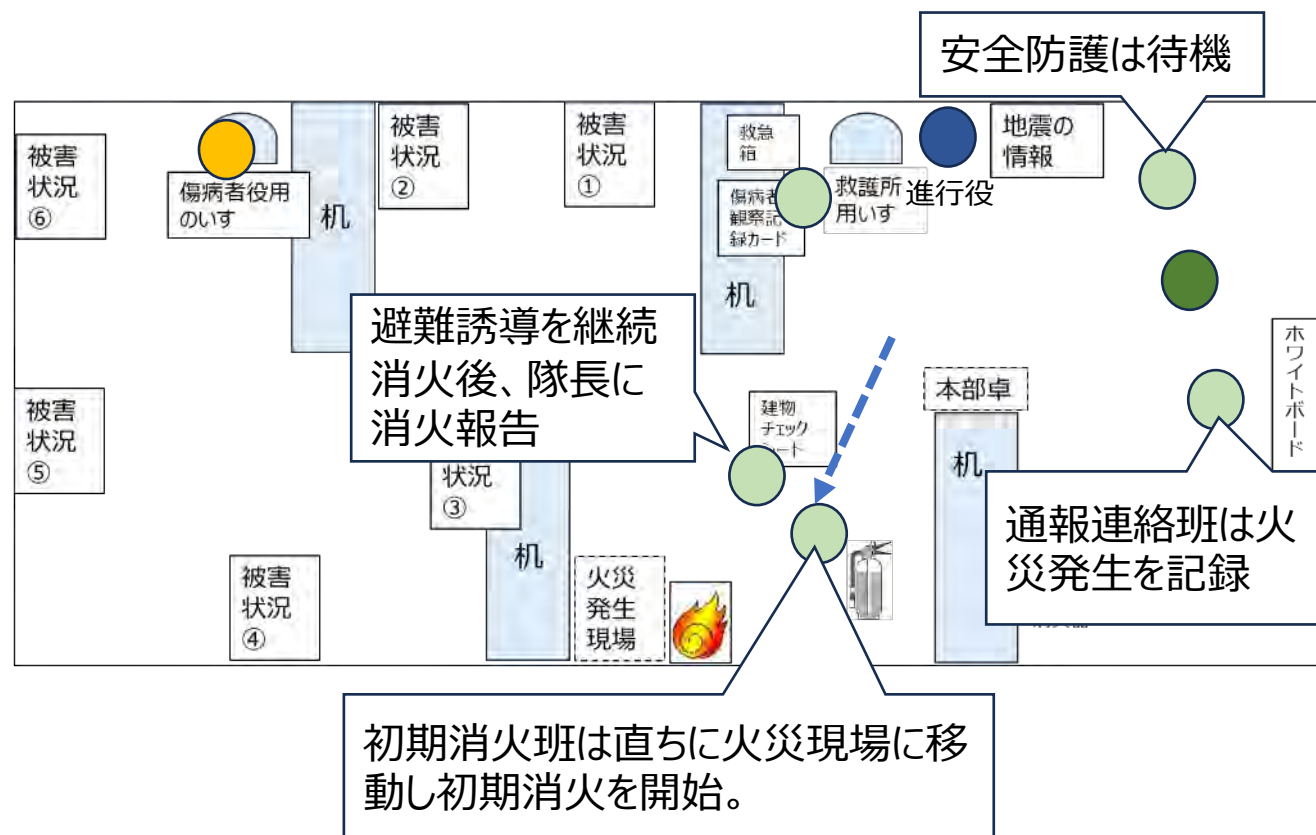
訓練時の動きのイメージ⑥



役割	セリフ
隊長	通報連絡班は119番通報を実施せよ
通報連絡班	了解。119番通報を実施します。
通報連絡班	（進行役に）火災が発生しました。新宿区〇〇町〇ー〇の〇〇ビル〇階〇〇株式会社です。地震で備品棚の下で発火しました。現在初期消火中です
進行役	了解しました。
通報連絡班	（隊長に）通報連絡完了しました。（報告後、時間・報告内容を記録）
隊長	了解！

※実際の地震発生時には119番通報は通報が集中し繋がらないかもしれませんが、本訓練では通報体験として行ってください。

訓練時の動きのイメージ⑦

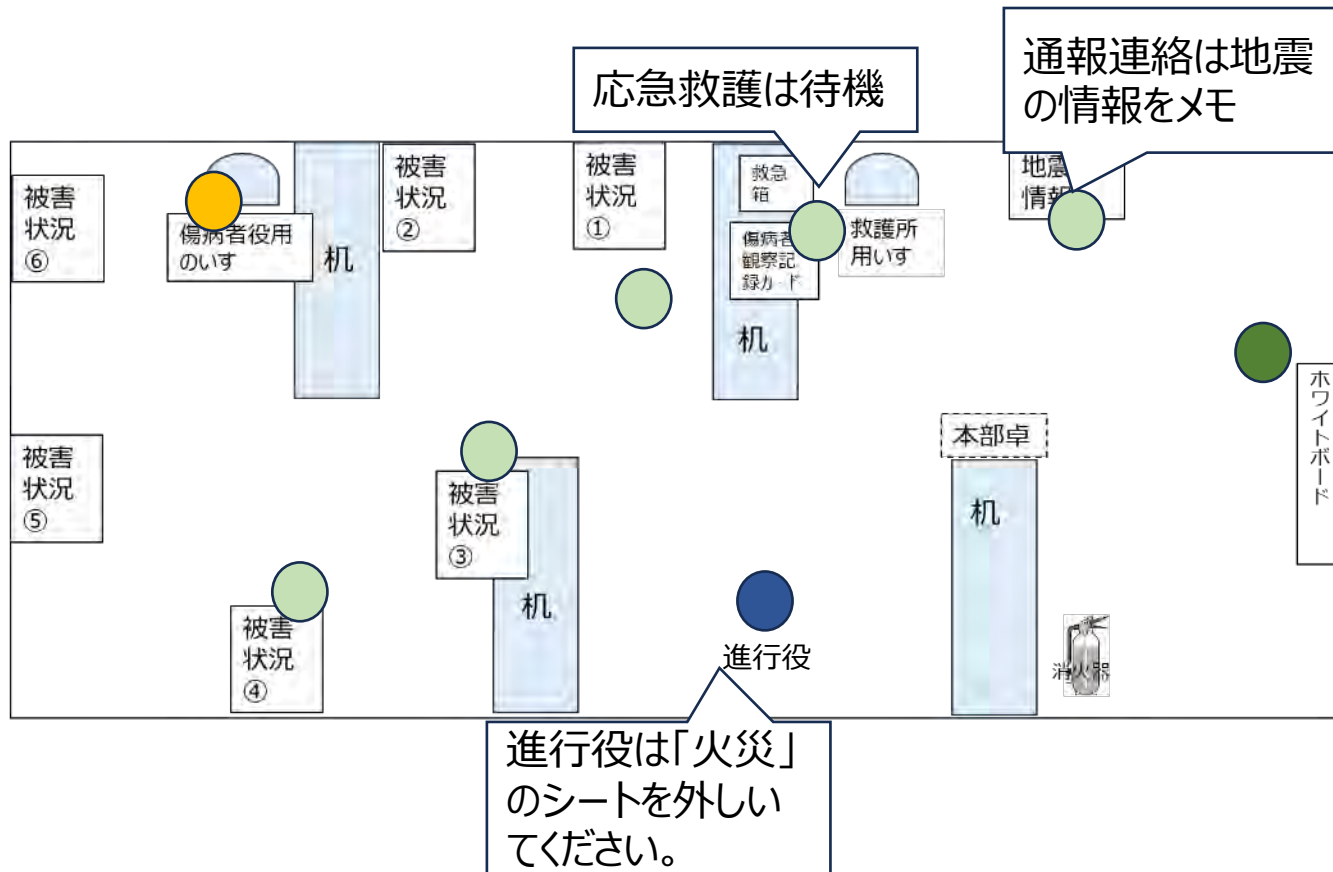


役割	セリフ
初期消火班 B 隊員	(火災現場に移動し) 火災発見、初期消火開始。 ピンよし、ノズルよし、消火 (声のみで放出はしません)
(1-2秒後)	
初期消火班 B 隊員	消火確認 C 隊員は隊長に消火を報告
避難誘導班 C 隊員	了解 (戻って隊長に消火を報告)
隊長	了解 引き続き安全点検を再開せよ

※火災発生の場合は初期消火・避難が重要となります。訓練では、その後の活動の流れに繋げるため、消火完了後引き続き施設に留まり地震対応を行う形にしています。違和感が大きい組織の場合には、⑤⑥⑦を省略して④から⑧に対応を進めてください。

訓練時の動きのイメージ⑧

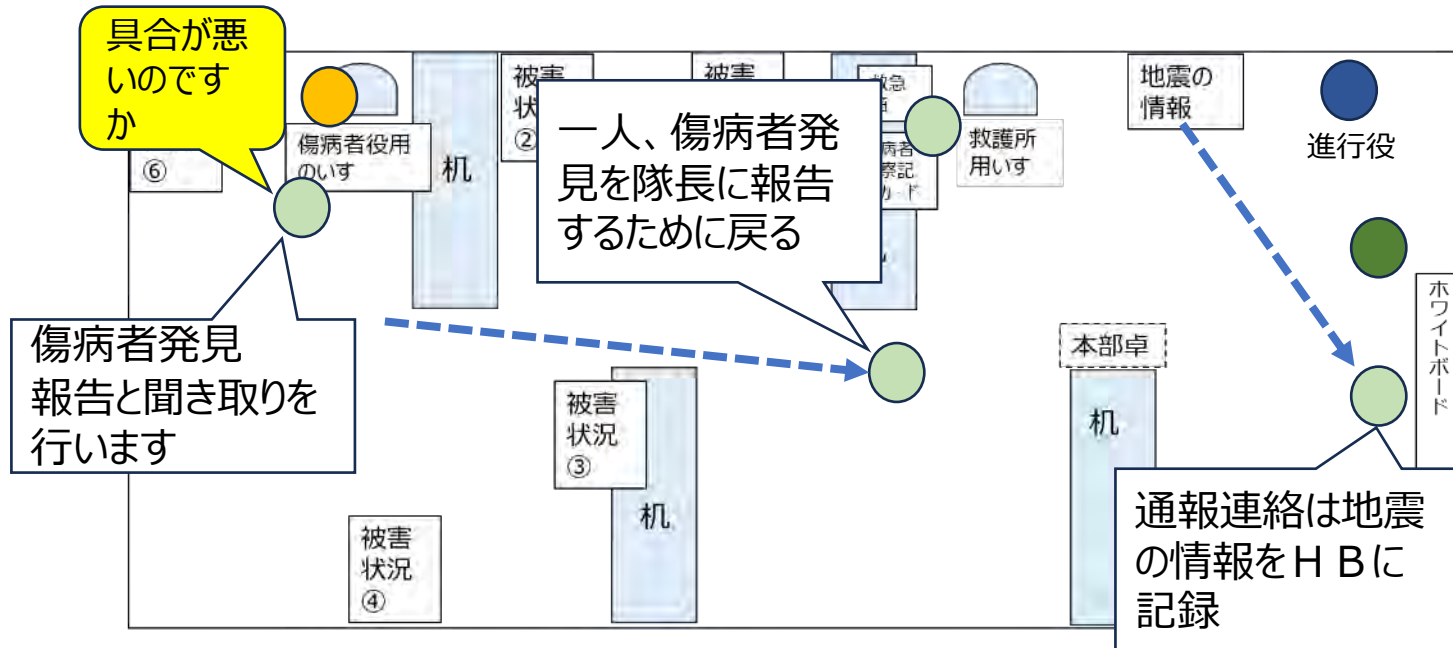
消火完了、建物内残留として安全点検を継続します。



- 隊長は、本部位置で待機
- 通報連絡班は「地震の情報」をメモし、ホワイトボードに記録
- 応急救護は班は救護場所で待機
- 避難誘導班・初期消火班・安全防護班は安全点検を継続。被害状況を手分けして建物チェックシートにメモ
- 進行役の方は「火災」のシートを片付けてください。

訓練時の動きのイメージ⑨

傷病者発見。応急救護対応を行います。



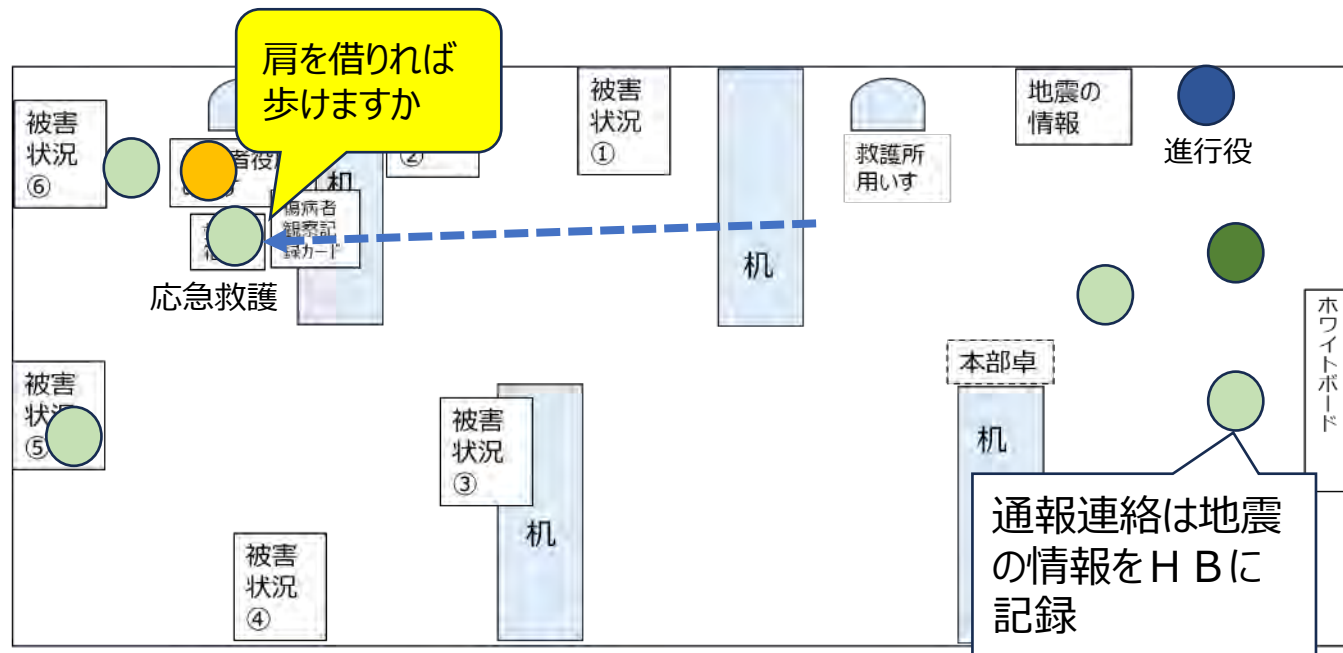
※負傷者発見は「班」ではなく、発見者と近くの隊員が協力して対応してください。

- 訓練会場奥で負傷者が発見されました。
- 1名は傷病者から状況を聞き取りしメモしてください。
- 傷病者役は傷病者情報シートに基づき回答してください。
- 1名は隊長に傷病者発見を報告してください。

役割	セリフ
報告者	報告します。会場奥にて負傷者1名発見。軽傷ですが救護班の対応が必要です。
隊長	了解。応急救護班は救護対応してください。
応急救護班	了解

訓練時の動きのイメージ⑩

傷病者発見。応急救護対応を行います。



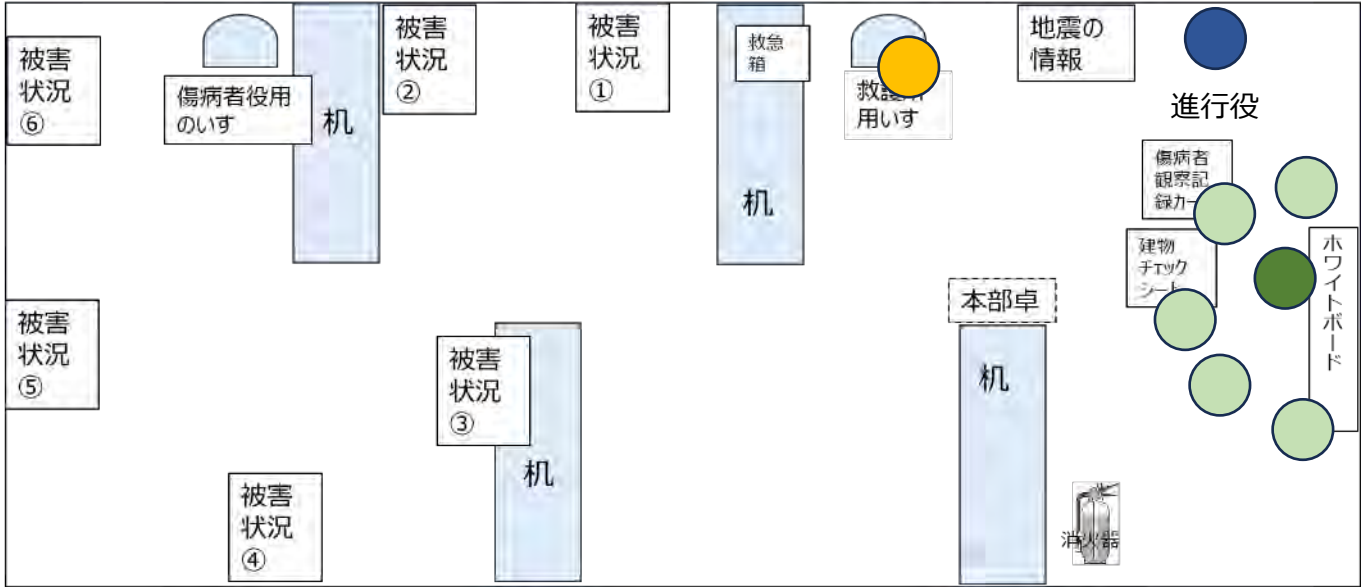
役割	セリフ
報告者	報告します。会場奥にて負傷者1名発見。軽傷ですが救護班の対応が必要です。
隊長	了解。応急救護班は救護対応してください。
応急救護班	了解

- 応急救護班は救急箱・傷病者記録シートを持参し、訓練会場奥の負傷者の対応を行ってください。
- 聞き取りを元に「傷病者記録シート」を記入してください。
- 足首捻挫のため、肩を貸して救護所に移動してください。

※負傷者発見は「班」指名ではなく、発見者と近くの隊員が協力して対応してください。

訓練時の動きのイメージ⑪

傷病者を救護所に移動させ隊長に報告してください。
 フロア内の被害状況（被害状況）のとりまとめを行ってください。



役割	セリフ
応急救護班	報告します。会場奥の負傷者は徳川家康さん。人事部所属。足首捻挫で出血無し。救護所で静養中です。
隊長	了解。安全点検の結果を報告してください
	（各隊員は点検結果を報告 通報連絡は記録）
隊長	では「 」と「 」について 初期消火班・安全防護班で立入禁止措置を行ってください。
初期消火班・安全防護班	了解 （「立入禁止措置対応器材」を 現地に持参して対応したことに して下さい）

訓練実施時の留意事項

- 安全第一で実施する。進行役は、時々「慌てないでください」などの声をかける。
- タイムトライアルでは無いので慌てない。移動は走らない。
- 手順の確認なので、一つ一つ「災害現場での安全管理」を考えながら行動する。
- 傷病者役は演技しなくて良い。「痛い痛い」とか迫真の演技はしないでください。あくまでも自衛消防隊の流れを掴む訓練です。
- 「初期消火」「避難誘導」「応急救護」は個々の講習会などで実技訓練を行ってください。
- 実際の対応においては、「建物の安全確認」は各施設の特性に合わせて点検か所を予め設定しておくことを推奨します。

訓練のレベルアップ

- ◆ 被害状況の想定をより悪い状況を設定する
 - 複数傷病者が発生した想定・・・「書庫倒壊に巻き込まれ複数人が負傷し、骨折等の重症者が発生した」等の設定で対応を行う。
- ◆ 帰宅困難者対応を設定する
 - 建物内待機を方針決定し、一斉帰宅抑止を行っていると設定して「待機場所」「備蓄品配布」「事故防止」「帰宅希望者対応」等を訓練に組み込む

参考)

東京消防庁・ネットで自衛消防訓練【地震編】 ※安全防護班がありません

<https://www.youtube.com/watch?v=TITjOOmNvHQ>

参考資料リンク

◆震災時における自衛消防活動

新宿駅周辺防災対策協議会 総会・セミナー・講習会

2023年1月2日 「自衛消防組織の震災対応活動講習会」 Zoomによるオンライン講習会

http://kouzou.cc.kogakuin.ac.jp/ssai_bousai/pdf/R4/03/r4_0131_lecture2_1.pdf

◆自衛消防隊活動フローチャート（地区隊）

新宿駅周辺防災対策協議会 総会・セミナー・講習会

2019年10月2日 自衛消防組織の震災対応活動講習会 自衛消防隊の構成と活動内容・自衛消防隊活動フローチャート（地区隊）

http://kouzou.cc.kogakuin.ac.jp/ssai_bousai/pdf/R1/10/r1_1002_lecture1_2.pdf

◆建物被害調査の基礎知識//建物チェックシート

新宿駅周辺防災対策協議会 総会・セミナー・講習会

2023年1月31日 「自衛消防組織の震災対応活動講習会」 Zoomによるオンライン講習会

http://kouzou.cc.kogakuin.ac.jp/ssai_bousai/pdf/R4/03/r4_0131_lecture2_3.pdf

http://kouzou.cc.kogakuin.ac.jp/ssai_bousai/pdf/R4/03/r4_0131_lecture2_4.pdf

参考資料（訓練用の状況付与イラスト等）

- ◆ 情報シートは、難易度が低い被害状況としています。今後。訓練を重ねてより深刻な被害に対応するようにしてください。
- ◆ 被害の被害状況は A 4 程度でプリントアウトし、会場内の被害として掲示してください。

地震の情報

■震源

東京都大田区付近

深さ約10キロ

■地震の規模

マグニチュード7.3

■各地の震度

震度7・大田区、品川区、

港区、中央区、江東区

震度6強・目黒区、渋谷区、

新宿区、文京区、江戸川区、

墨田区、

自衛消防隊の編成

役割	氏名
隊長	
初期消火	
避難誘導	
通報連絡	
応急救護	
安全防護	

傷病者記録観察カード

- ◆ 応急救護班がフロア内の傷病者の対応する際に使用します。
- ◆ 傷病者の状況を聞き取り・観察して記録します。
- ◆ 上の部分は傷病者本人に所持させ、下の部分は本部の記録用です。

新宿駅周辺防災対策協議会 総会・セミナー・講習会
2019年11月18日「応急救護講習会」

http://kouzou.cc.kogakuin.ac.jp/ssa_bousai/pdf/R1/11/r1_1118_lecture1_2.pdf

No.

令和元年度 新傷病者調査対策協議会

傷病者観察記録シート（傷病者携帯用）

書ける範囲で記入・図をつけ、傷病者が携帯してください。

（20190104）

・ 傷病者氏名(カタカナ) _____

・ 年齢・性別・連絡先 _____ 歳 ☐ 男性 ☐ 女性 電話 _____

・ 自力歩行 ☐ 歩ける ☐ 歩けない

・ 自発呼吸 ☐ あり ☐ なし

・ 意識 ☐ あり ☐ なし

・ 負傷状況 ☐ 切った ☐ 打った ☐ 挟んだ ☐ 刺した ☐ やけど

☐ その他 _____

・ 負傷箇所(図に×印)

・ 負傷時期 ☐ 発災時 ☐ その他 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分

・ 負傷場所 _____

・ 特記事項 _____

	記入日時(24時間表記)	記入場所	記入者氏名(カタカナ)
観察記録	月 日 時 分		
経過	月 日 時 分		
経過	月 日 時 分		

（切り取り線）

令和元年度 新傷病者調査対策協議会

No.

傷病者観察記録シート（現場保管用）

書ける範囲で記入・図をつけ、退出時に切り取り現場で保管してください。

（20190104）

・ 傷病者氏名(カタカナ) _____

・ 年齢・性別・連絡先 _____ 歳 ☐ 男性 ☐ 女性 電話 _____

・ 自力歩行 ☐ 歩ける ☐ 歩けない

・ 自発呼吸 ☐ あり ☐ なし

・ 意識 ☐ あり ☐ なし

・ 特記事項 _____

受入	月 日 時 分	どこから	付添 ☐ あり ☐ なし
退出	月 日 時 分	どこへ	搬送 ☐ あり ☐ なし

（20190104）

建物チェックシート

安全防護班がフロア内の被害状況を確認する際に使用します。

- ◆ 中心の枠内にフロアの略図を記載し使用します。
- ◆ 各社でチェックシートを用意している場合はそれを活用してください。

建物チェックシート					
No.	記入者名 (カタカナ)	記入日時 月 日 時 分	建物/ 施設名称	階数	場所/ テナント名

状況	ヒ=ひび割れ・割れ	ハ=はがれ・浮き	ヘ=変形・ゆがみ	ラ=落下・脱落	カ=開閉困難	テ=転倒・傾斜	ロ=漏水	ソ=その他
記入例	○	☆	A	ヒ	1530			
	緊急・危険あり							

記号	部位など	該当に チェック (✓)
☆	緊急・ 危険あり	
A	柱・壁 の異常	
B	床・梁 の異常	
C	扉・窓 の異常	
D	天井 の異常	
E	設備 の異常	
F	家具 の異常	
G	その他 の異常	
H	大きな音 がした	

新宿駅周辺防災対策協議会

新宿駅周辺防災対策協議会 総会・セミナー・講習会

2023年1月31日「自衛消防組織の震災対応活動講習会」Zoomによるオンライン講習会

http://kouzou.cc.kogakuin.ac.jp/ssa_bousai/pdf/R4/03/r4_0131_lecture2_3.pdf

ホワイトボードの記入例

地震の情報	火災対応	オフィス内被害状況
震源・	発見時間 時 分	〇〇部天井落下・負傷
規模・マグニチュード	初期消火氏名	無し→立入禁止措置
各地の震度	通報連絡 時 分	
	通報連絡氏名	
自衛消防隊編成記録	消火時間 時 分	
隊長・	傷病者対応状況	
初期消火班・	氏名・	
避難誘導班・	状況・	
通報連絡班・	処置・	
応急救護班・		
安全防護班・		

火災発生場所



場所：備品棚下
可燃性薬品が落下し発火

傷病者情報シート

- ◆ 傷病者役の設定です。
- ◆ あまり迫真の演技はしないでください。

項目	内容
氏名	徳川家康（男性・48歳）
所属	人事部
負傷部位	右足首が痛い。腫れている 出血はしていない。
状況	揺れた時に慌てて転倒した。 足首を捻って痛めたらしい。 肩を貸してもらえば、短距離なら歩行は可能。

- ◆ 傷病者役の方は応急救護班の処置を受けます。

被害状況①

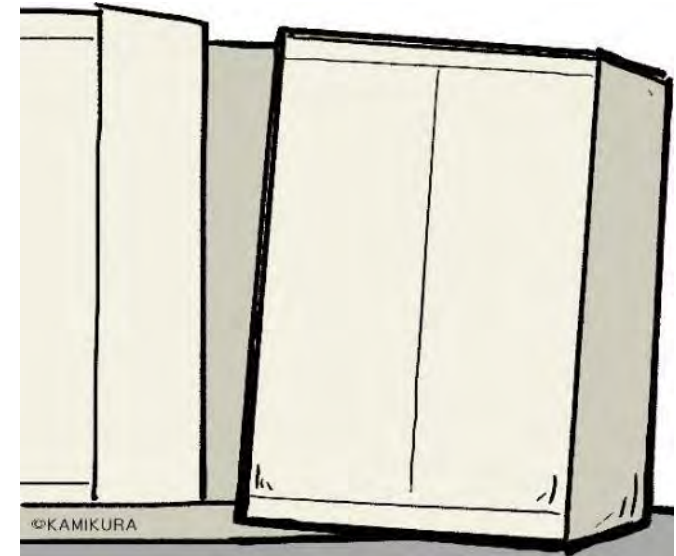
「 」部の天井落下



- ◆ 天井の一部が壊れて落下しています。
- ◆ 落下は4メートル×5メートルの範囲です。
- ◆ パソコン5台が下敷きになりました。
- ◆ 負傷者はありません。

被害状況②

「 」部の書庫が倒れるかもしれません



- ◆ スライド書庫の一つがガイドレールから外れて倒れそうです。
- ◆ 中は書類がいっぱいで重そうです。余震で倒れるかもしれません。
- ◆ 負傷者はありません。

被害状況③

来客スペースの天井落下



- ◆ 天井の一部が壊れて落下しています。
- ◆ 落下は天井の半分以上です。
- ◆ 照明も落下して停電しています。
- ◆ 負傷者はありません。

被害状況④

給茶器が落下してお湯がこぼれました



- ◆ リフレッシュコーナーの給茶機が落下して大量のお湯がや下にこぼれました。
- ◆ 総務部員がふき取りをしています。
- ◆ やけどや負傷者はありません。

被害状況⑤

備品倉庫の中で荷崩れしました。



- ◆ 倉庫の中で荷物が崩れました。
- ◆ 備蓄の食料も巻き込まれて下敷きになったようです。
- ◆ けが人等はいません。

被害状況⑥

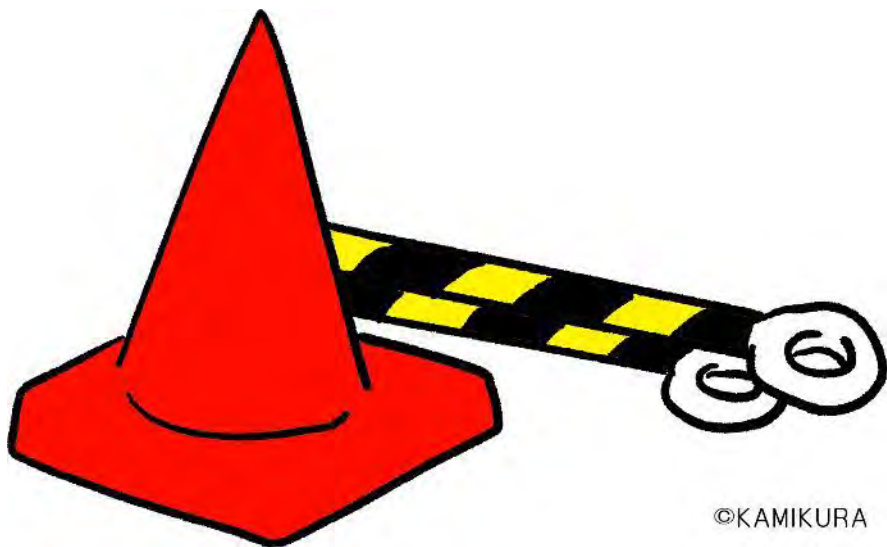
揺れで複合機が暴走・転倒して配線が切れたようです。



- ◆ 事務機コーナーの複合機が暴走・転倒しました。
- ◆ 端子部分が引きちぎられ配線が切れました。
- ◆ 負傷者はありません。

立入禁止措置対応器材

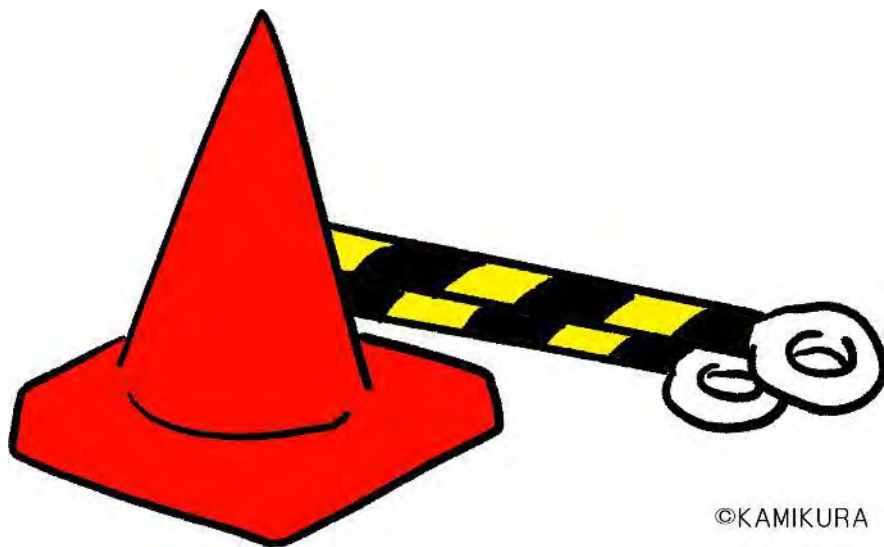
状況を隊長に報告し、立入禁止措置を実施する場所にこのカードを持参し、立入禁止措置を行ったことにして下さい。実施後、隊長に報告してください。



©KAMIKURA

立入禁止措置対応器材

状況を隊長に報告し、立入禁止措置を実施する場所にこのカードを持参し、立入禁止措置を行ったことにして下さい。実施後、隊長に報告してください。



©KAMIKURA

リスクマネジメント研究部会のご紹介

リスクマネジメント研究部会は、毎月一回リスクマネジメントに関する情報交換、事例研究等を行っています。

最近では、半分はzoomでの開催ですので、東京近郊以外の方も参加できます。

施設のリスクの見直し、訓練手法など様々な話題に取り組んでいます。本年度は模擬対策本部訓練行ったり、企業見学で研究所や工場を訪問しました。

ご興味のある方は、お気軽にJ F M A事務局・大野さんまでご連絡をお願いします。



Zoomでの研究部会開催風景

